

# 園だより 2月

自分の思いを表現できる子供を育てる（2年次）

令和3年1月28日

常陸太田市立幸久幼稚園 0294-72-7006 園児数 49名



真冬の寒さに負けず、元気一杯に登園してくる子供たち、毎朝のジョギングでは、頬を赤らめながら走る姿がたくましく、一人一人、大きな成長を感じています。

最近では、ひまわり組対たんぼぼ組のドッジボールが盛り上がり、どちらが勝つか、毎日目が離せません。

まもなく迎える卒園・進級に向けて、幼稚園は更にパワーアップし、一日一日を大切に過ごしていきます。

今年の節分は2月2日幼稚園でも豆まきを行う予定です。そこで、学年ごとに鬼を作りました。個性的な鬼が一杯です。

「パンパンって、よく振ってから干すんだよ！」



## ～幼稚園でのコロナ対策として～ **パートⅩ**

～お願い～

- ・ご家族に発熱があった場合は、必ず幼稚園へ連絡願います。また、ご家族に発熱だけでなく咳等風邪症状がある場合でも、園児の登園を控えていただけるようお願いいたします。（出席停止扱いとなります。）
- ・ご家族がPCR検査を受けた時は幼稚園までご一報ください。またその結果もお知らせ願います。

## ～進級に向けて、仕事の引継ぎが始まりました～

今までは自分たちの役目として行ってきた仕事を、次の学年に引き継ぐために、幼児自らが「ひまわり組のように自分たちもやってみたい」「たんぼぼ組に教えてもらいたい」と思えるようなしかけを担当同士で相談し進めてきました。その結果、幼児たちは、上の学年の仕事に気付き、やりたい気持ちを膨らませ、自らやり方を教えてもらう姿が見られるようになりました。

ひまわり組とたんぼぼ組、たんぼぼ組とすみれ組、互いを認め合いながら一緒に取り組んでいる姿は、とても微笑ましく、頼もしさを感じています。



「やってみるから見てて！」

## 【子育てサプリメント】 ～「自立した子を育てる親の関わり方」について～

子供が、自分から「～したい」と言った時が伸びるチャンスです！

### ①日頃から心がけておきたいこと

- ・子供の話をよく聞いて信頼関係を築く。
- ・当たり前なことやできたことを褒めて自信につなげる。
- ＊自分からやろうと決めたことを、親が見守り、励ます姿勢が大事です。

### ②親ができる手助けは…？

- ・どうしたらできるようになるか、どんなことを頑張るか、相談にのりながら一緒に考える。 **具体的なステップを考える**
- ・自分にできそうなものを子供自身に選ばせる。 **自分でやろうと思わせることがポイント**
- ・ステップが少しでもできたら褒めて励ます。

**励ますことが、また頑張ろうという意欲につながる**

- ・決めたことを達成できたら、頑張った子供自身を褒める。

**親がさせるのではなく子供の「自分でできた！」を大切にする。**

家庭教育応援ナビ すくすく育ていばらきっ子より



ひまわり組が朝礼台を出している姿を真剣な眼差しで見っていたたんぼぼ組



今度は「自分たちがやってみたい」と挑戦してみました。

## 2月の教育目標



≪3歳児：すみれ組≫

◎友達とイメージを伝え合いながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。

≪4歳児：たんぼぼ組≫

◎友達と共通の目的をもって遊ぶ楽しさを味わう。

≪5歳児：ひまわり組≫

◎話し合ったり役割分担したりしながら、友達と一緒にやり遂げていく充実感を味わう。

一部抜粋  
：